

下条小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「知、徳、体の調和のとれた、豊かな人間性と活力に満ちた『下条っ子』の育成」を教育目標として、ESDを特色ある教育活動の柱と捉え、ESDの実践を通して計画を立てる力、多面的、総合的に考える力の育成を目標とした。
- ・家庭や地域との連携活動・食農教育等の充実を中心に、①地域防災について学ぶ活動、②地域の「ひと」「もの」「こと」に触れる活動、③栽培に関わる活動を行った。

・活動の実際

① 地域防災について学ぶ活動 (全校児童)

昨年度に引き続き、6月の校区防災訓練に全校児童が参加した。今年は、親子で各会場を回り、命を守る行動について学んだ。訓練直前の6月2日の大雨災害では、命の危険を感じて避難した家庭もあり、例年以上に真剣な様子が見られた。

起震車体験では大きな地震の揺れを体感したり、煙体験では低い姿勢で壁づたいに移動することの大切さを学んだりした。また、避難所体験では、体育館に設営された間仕切りダンボールやプライベートテント、簡易トイレなどを見ながら、実際に被災したときには想像以上の不自由やストレスを感じるのではと、子どもたちなりに思いをめぐらせていた。

この体験を通して、さらに各家庭で防災への関心を高め、自分のできることは何か考えることができた。



体育館での避難所体験

② 校区の「ひと」「もの」「こと」に触れる活動 (全校児童)

5月に「校区ウォーキング・なかよしタイム」を行った。第3回めとなる今回は、校友グループごとに五井・八反ヶ谷方面を歩き、神社や水田などを巡った。途中、校区在住の松井様、菅沼様、坂本様から神社等の歴史について伺い、普段は気づかない校区のすばらしさを改めて知ることができた。今回で校区内の全地区を回り終えることができ、縦割り総合の時間には、下条のPR動画を作成した。下条の素敵な「ひと」「もの」「こと」をまとめることを通して、自分の住む地域への愛着を深めることができた。



校区ウォーキング

③ 栽培に関わる活動 (全校児童)

毎年、学校内外の畑で野菜を栽培している。えみなごグループ（縦割り班）や学年ごとに夏野菜、冬野菜を栽培し、毎朝の水やりが子どもたちの日課になっている。5年生は地域農業ボランティアの方からご指導いただき、学校近くの水田で米作りも行った。収穫した野菜は、学校行事等の日に弁当の材料として利用し、下条の実りを大切にしたいとの思いを高めることができた。



エダマメの収穫